

教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

学年の目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- (3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

評価の観点

月	内容のまとめ	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4~5	デザイン	印象に残るロゴマーク 「私のマーク」	<p>(知) 具体物や文字などの形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、伝達する内容を全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>(技) 絵の具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら見通しを持って表している。</p>	<p>(発) 伝える内容やイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、分かりやすさと形や色彩などとの調和を考え、表現する構想を練っている。</p> <p>(鑑) 伝えたい内容と分かりやすさの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。</p>	<p>(態表) 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく自らの夢や理想、目指す姿を表すのに適した表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>(態鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく作品や美術文化などの鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

5~6	絵画	見つめ、感じとり描く 「鉛筆デッサン」	<p>(知) 形や色彩、明暗、質感などが感情にもたす効果や、造形的な特徴などを基に、よさや美しさ、印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>(技) 鉛筆の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。</p>	<p>(発) 身近なものを見つめ感じ取った形や色彩、質感の特徴や美しさなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。</p> <p>(鑑) 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。</p>	<p>(態/表) 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく身近なものの特徴や美しさなどを基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>(態/鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
6~7	デザイン	視覚伝達デザイン [ポスターの制作]	<p>(知) イラストレーションや写真、文字の形や色彩、構成などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、伝達する内容を全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>(技) アクリル絵の具の特性やレタリングの技術などを身に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら見通しを持って表している。</p>	<p>(発) 伝えたい情報やイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、分かりやすさと形や色彩、文字の工夫などとの調和を考え、表現する構想を練っている。</p> <p>(鑑) 伝えたい情報と分かりやすさとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。</p>	<p>美術の創造活動の喜びを味わい楽しくイラストレーションと文字を組み合わせるなど伝達のデザインの目的や機能を考え、構想を練ったり、意図に応じて工夫し見通しを持って表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>(態鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく伝えたい情報と分かりやすさとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
9~10	デザイン	文字をデザインする 「レタリング」	<p>(知) 文字や文字が意味するものの形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、伝達する内容を全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>(技) アクリル絵の具の特性や表現方法などを身に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら見通しを持って表している。</p>	<p>(発) 文字の意味やイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、分かりやすさと形や色彩などとの調和を考え、表現する構想を練っている。</p> <p>(鑑) 文字の意味と分かりやすさとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。</p>	<p>(態/表) 美術の創造活動の喜びを味わいイラストレーションと文字を組み合わせるなど伝達のデザインの目的や機能を考え、構想を練ったり、意図に応じて工夫し見通しを持って表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>(態/鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく文字の意味と分かりやすさとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
10	鑑賞	風神・雷神	<p>(知) 構図、余白、折りによる空間や奥行きなどの表現などが感情にもたらす効果や、屏風の特性などの造形的な特徴を基に、よさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。</p>	<p>(鑑) 身近な地域や日本の文化遺産から、よさや美しさなどを感じ取り、余白や折りなどの作者の意図と工夫、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げている。</p>	<p>(態/鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく美術作品や美術文化などの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

11~1	デザイン	暮らしをいろいろる文様 「つながる文様」	<p>(知) 直線や曲線、色彩から生まれた抽象的な形の構成が感情にもたらす効果や造形的な特徴などを基に、版による表現のよさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>(技) 彫りや刷りのそれぞれの場面で彫刻刀や絵の具などの適切な生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。</p>	<p>(発) 構成や装飾の条件などを基に主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考えて表現の構想を練っている。</p> <p>(鑑) 目的や機能との調和のとれた構成の美しさなどを感じ取り、表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。</p>	<p>(態/表) 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく直線や曲線、色彩から生まれた抽象的な形を生かして模様を考える表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>(態/鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく直線や曲線、色彩から生まれた抽象的な形を生かした模様の鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
2~3	彫塑	形や色を見つめて 「ホンモノらしく」	<p>(知) 形や色彩、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などの見て感じ取ったことを基に、美しさなど全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>(技) 粘土や絵の具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。</p>	<p>(発) 身近なものを見つめ感じ取った形や色彩、質感の特徴や美しさなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。</p> <p>(鑑) 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。</p>	<p>(態表) 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>(態鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく作品などの鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
評価方法			<ul style="list-style-type: none"> ・作品（構想力・技能） ・ワークシート ・アイディアスケッチ ・テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品（発想力・表現力） ・ワークシート・鑑賞ノート ・合評会 ・テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業への取り組み、作業進度や内容 ・提出物 ・話し合い活動への参加の様子 ・振り返りシート

学習の進め方

- ・ 1週間に1～2回の授業のため、忘れ物には十分に気を付け、作業や課題に集中して取り組む。
- ・ 実技に関しては、作業への取り組みの姿勢や進度、発想力・構想力・表現力について、ワークシートやふりかえりシート、作品の机間指導による技能チェックを行う。
- ・ 制作は個々で行うが、グループワークを活用した作業の協力体制を大切に、お互いがアドバイスやサポートをし合う。